

本日の講義を受けて

1 国際協力における国際開発コンサルタントの役割について

国際開発コンサルタントとは、外務省や農林水産省などの省庁に依頼された政府開発援助（ODA）を実践する仕事です。

農業系の国際開発コンサルタントに限れば、世界で起こっている環境や食料、人口や貧困などの諸問題に対して、農業・農村の開発や水資源の供給・管理、環境保護、エネルギー開発などを行っています。

2 講義で最も印象に残ったキーワードについて

今回の授業で印象に残ったキーワードは、「国際協力」という言葉です。授業の初めに岩本さんが、「国際協力」とは何か！という議題を挙げて説明をしていただきましたが、その議題については私も改めて考える機会になりました。

「国際協力」は何のためにするのか？ 自国の、日本の利益だけを考えるのであればする必要はありません。しかしながら、それは日本を一つのコミュニティとして見てしまっているからの意見であり、世界全体に目を向け世界を一つのコミュニティとして考えると話は変わってきます。世界の中には経済的な豊かな先進国だけでなく、困窮している発展途上国も多く存在しています。その地域に対して、先進国が「国際協力」という形で経済や技術などの支援を行うことでその地域が豊かになり、生活が守られることで世界全体が大きな利益を得ることになるでしょう。

講義でおしゃっていたように、日本も戦後経済的に苦しかった時代に、国際基金から金銭的な援助を受け、先進国へと成長してきました。先進国になった今、昔の日本みたいに同じように苦しんでいる人を支援する使命があるのではないか、と思います。